

第3学年 社会科学習指導略案

- 1 単元名 安全なくらしを守る
- 2 本時の目標 119番へ電話したときに尋ねられることや答えることをプログラミングによって、シミュレーションし、大切なことを素早く聞き出す工夫について考えることができる。
- 3 本時の展開(5/11)

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具等
見通す	1 既習事項の確認	一斉	○火事を見つけた際にしなければならないことや119番通報で尋ねられる内容について振り返る。	・119番通報では、火事の現場やけが人の状況など、大切なことを素早く聞き出さなければいけないことを押さえる。	教材・教具等
	2 課題把握	一斉	○通報者と通信指令室とのやり取りをプログラミングするという課題をつかむ。	・「メッセージを送る」や「メッセージを受け取ったとき」のブロックの使い方を振り返らせる。	
	3 めあて	一斉	○めあてを確認する。		
つなげる	通報者と通信指令室のやり取りをプログラミングしよう。				
	4 見通し	一斉	○「119番通報だ!」→「火事ですか?救急ですか?」のやり取りの続きをつくることを確認する。	・スクラッチを起動させ、ファイルを開かせる。	プロジェクトスクリーン
5 自力思考	個別	○どのような順番で、どのような内容を尋ねたり答えたりするかを考えながらプログラムをつくる。			
ひろげる	6 集団解決	ペア ↓ 一斉	○つくったプログラムについて交流し、自分のプログラムを修正する。	・「大切なことを素早く聞き出せているか」という視点を持って交流させる。	
	7 まとめ	一斉	○119番通報をするときやプログラムをつくるときに大切なことを考える。	・火事に素早く対応するために、通報者としての役割をしっかりと果たす必要があることも押さえる。	
	8 振り返り	個別	○今日の授業で一番大切だと思ったことを振り返りシートにまとめる。	・「プログラミング」というキーワードを与えるとともに、自分の学びの様子を詳しく記述させるようにする。	振り返りシート

4 本時の評価 (評価観点) < 評価方法 >

119番通報のやり取りをプログラムすることによって、大切なことを素早く聞き出す通信指令室の工夫を考えている。

(思考・判断・表現) < 発言・振り返り >